

医療法人社団 広恵会 春山記念病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5

TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021

<http://www.haruyama-hosp.com>

e-mail : info@haruyama-hosp.com

形成外科と手術

その1－眼瞼下垂症手術

形成外科部長

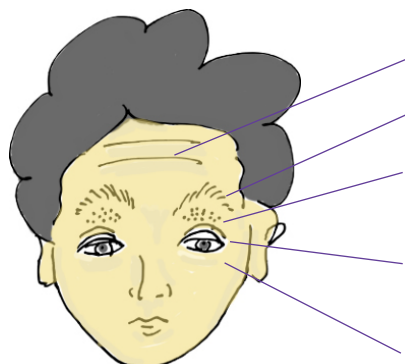
渡辺 克益

形成外科は体表疾患を扱うため、面倒な臓器管理の必要性が少なく、手術手技が結果に直結します。そこで眼瞼下垂です。眼科医も眼瞼手術を行いますが、眼科医の関心の中心は眼球であり、眼瞼ではありません。この眼瞼には形成外科が得意とする皮膚・皮下組織、腱膜や筋肉などがギュッと詰め込まれており、デリケートな眼瞼形成手術は形成外科の重要な分野となっていて、この中に眼瞼下垂の改善手術も含まれます。

さて、下図のように加齢とともに瞼が上げづらくなった方や長年ハードコンタクトレンズを愛用されて来た方々は眼瞼と挙上筋（眼瞼挙筋）との繋がりが緩む「腱膜性眼瞼下垂」を生じ、種々の程度の上眼瞼皮膚の「弛緩性下垂」を伴っています。手術は眼瞼挙筋や皮膚の緩みを修正しますが、同時に眼瞼の動きを抑制している開瞼抑制組織（というのが存在します）の切除もします。片眼ずつ手術も可能ですが、片眼が開き易くなると反対側の眼瞼は反射的に下降するので、自然な開瞼を重視するなら両眼同時手術が基本となります。NHKで取り上げられた松尾法（信州大）では大きな皮膚切開で開瞼抑制組織を徹底的に切除することを重視しますが、長い皮膚切開となり侵襲も大きくなります。一方で、抑制組織に手をつけない従来術式では侵襲が少ない反面、効果が不安定です。

眼瞼下垂の症状例

どれかあてはまれば
眼瞼下垂かも…



額の横皺が目立ってきた。

眉毛の位置が高くなった

眼瞼の上部が窪んできた

二重瞼が三重・四重瞼になった

目尻に涙がたまってヒリヒリする

眼が開けづらい

私共では、最新理論に基づいて選択的な抑制組織の解除と挙筋の付着位置の修正を低侵襲で行い、座った状態で開瞼状況を確認しています。このため手術時間は短い場合でも1時間程は必要です。術後の瞼の形にも配慮していますが、細かな美容的修正までは踏み込みません。健康保険による眼瞼下垂手術ですのでご理解ください。

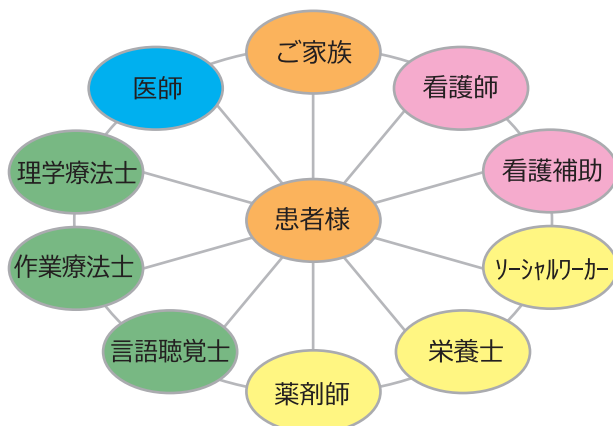
回復期リハビリテーション病棟の紹介

脳血管疾患、大腿骨頸部骨折、肺炎などの治療時の安静により生じた廃用症候群などの患者さまに対し、日常生活活動能の拡大による寝たきりの防止と、家庭復帰を目的とした集中的なリハビリテーションが受けられる病棟が、平成26年11月に開設されました。地域の皆様が手術後、シームレスなケアを望まれたことも、開設された大きな理由のひとつと聞き及んでおります。病床数は40床、（個室：2室、2人部屋：1室、4床室：9室）です。

ご入院中は、経験豊富な医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーなどが連携し、患者様にあったプログラムを作製し、これに基づいた実生活の自立を目指したリハビリテーションを365日実施しております。また、ご家族や患者様を含めたカンファレンスを行い、退院時の目標を見据えたリハビリテーションを構築し、早期の社会復帰をめざしております。

ともに、病棟の看護師は、それぞれの専門性を深め、患者様やご家族の思いに添えるよう、明るく笑顔で看護の提供をさせていただいております。

また、院内の回復期リハ病棟ワーキンググループ主催の各種レクリエーションを開催してご入院中の患者様に楽しいでいただいております。



左：
平成27年3月14日(土)
「フラが来ます」



右：
平成27年4月25日(土)
「南京玉すだれ他」



一緒に踊って、笑って、日常とは違う時間を過ごしていただきました。



数字で見る!! 春山記念病院



平成26年10月～平成27年3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者延べ数	3,984	3,788	3,890	3,852	3,788	3,890	23,192
入院患者延べ数	1,500	1,964	2,478	2,630	2,369	2,515	13,456
搬送救急車台数	281	359	348	267	261	312	1,828
手術件数	84	88	101	102	92	108	575

春山記念病院の理念と基本方針

病院理念

・ 安心で信頼される急性期医療 ・ 治療の継続性を目指した回復期医療 ・ 共に歩む医療

基本方針

1. 急性期疾病と救急医療にあたる地域の中核病院として、常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供します。
2. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を図り、適切な医療サービスを提供できるよう努めます。
3. 急性期から回復期リハビリテーションへの円滑な移行を通じて治療の継続性を目指します。
4. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼関係のもと安全で納得のできる医療を確保するため、患者の皆様自らにさまざまな医療の現場で診療に積極的に参加していただき、より良きパートナーシップを構築するよう心がけます。
5. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。
6. 地域の医療・福祉機関等と密接に連携を図り、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
7. スタッフと病院がともに発展できる、働き甲斐のある職場を目指します。

患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることがなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく十分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平 日 9:00～17:00

土曜日 9:00～16:00

CT、MRI検査や脳波検査などお電話で受付いたします。

TEL : 03-3363-1661 (代表)

《入院依頼》

緊急入院につきまして、9:00～17:00 の診療時間内の依頼は診療担当医が対応いたします。夜間、休祭日は当直医が対応いたします。

その他、緊急性の少ない入院の相談は医療相談室でMSWが承ります。